

令和6年度
気仙地域県立病院運営協議会

岩手県立大船渡病院の現況報告

岩手県立大船渡病院

院長 中野達也

令和6年11月5日

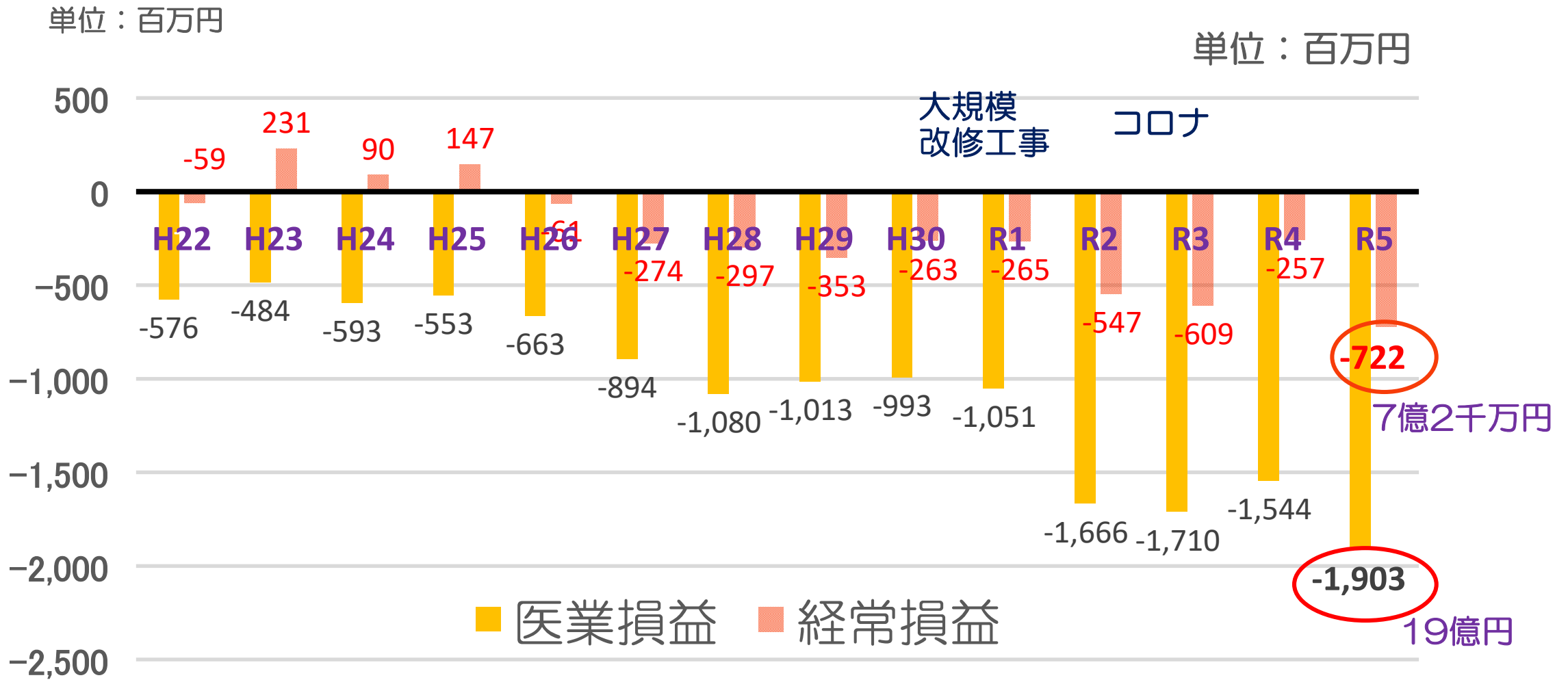


大船渡病院の経営状況と病棟休止について

- 令和4年度決算で、大船渡病院は県立病院の中で
医業損益（補助金等を含まない）赤字額が第1位
経常損益（補助金等を含む）は、**△ 257（百万円）**（1位ではなかった）
- 令和5年度決算で県立病院の経常損益（補助金等を含む）
県立病院全体で、**△ 3,261（百万円）（R5）**（**△ 2,608（百万円）（R4）**）
大船渡病院は **△ 722（百万円）（R5）**（**△ 257（百万円）（R4）**）
- 最大の要因は、入院患者減少、病床利用率の低下
→ 今年9月から **1病棟を休止**しました

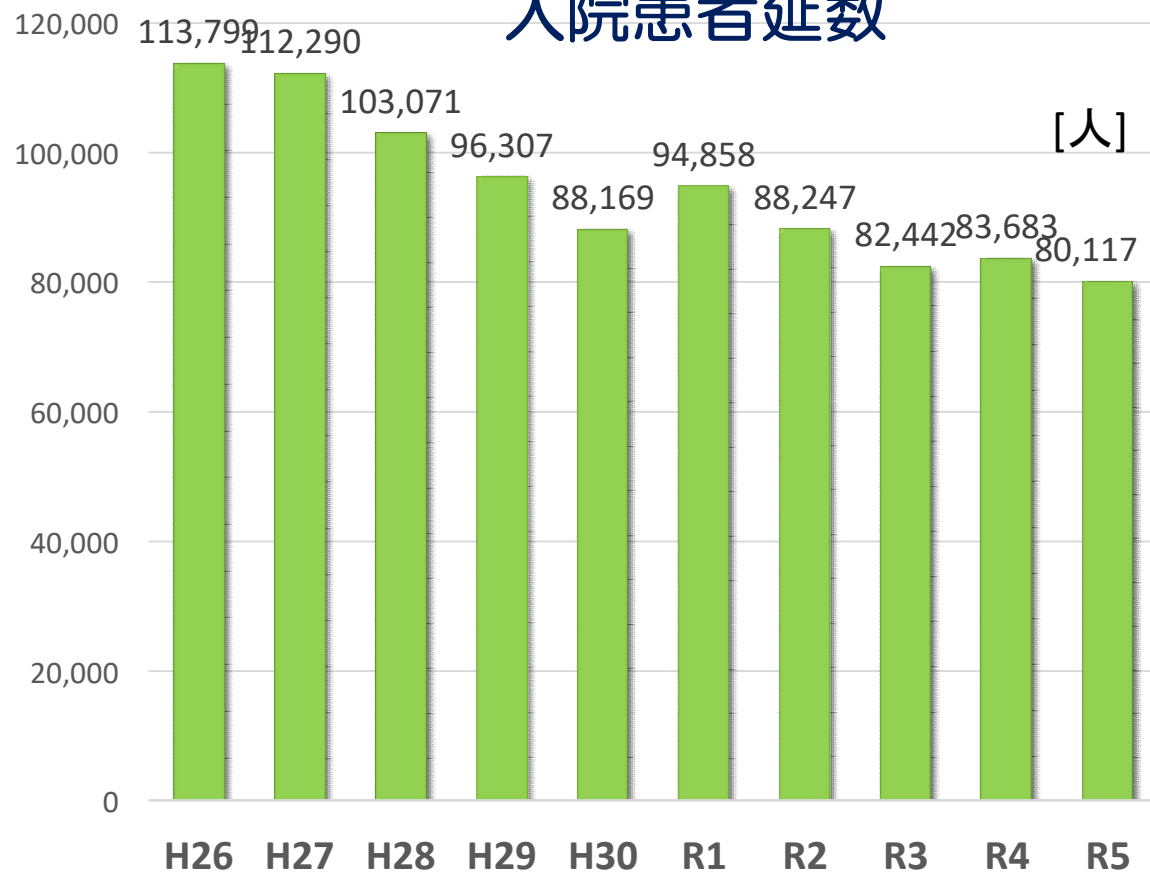


H22年度～R5年度の収支推移（大船渡病院）



入院患者延数、1日平均入院患者数

入院患者延数



1日平均入院患者数



病棟別病床数（9/1より一部変更）

病棟	計	一般	精神	結核	感染
3階東	46(0)	46(0)			
4階東	58(55)	58(55)			
4階西	61(57)	61(57)			
5階東	60(60)	60(60)			
5階西	62(58)	62(58)			
6階東	63(0)	63(0)			
救命救急センター	20(20)	20(20)			
精神病棟	105(105)		105(105)		
結核病棟	10(0)			10(0)	
感染病棟	4(4)				4(4)
計	489(359)	370(250)	105(105)	10(0)	4(4)

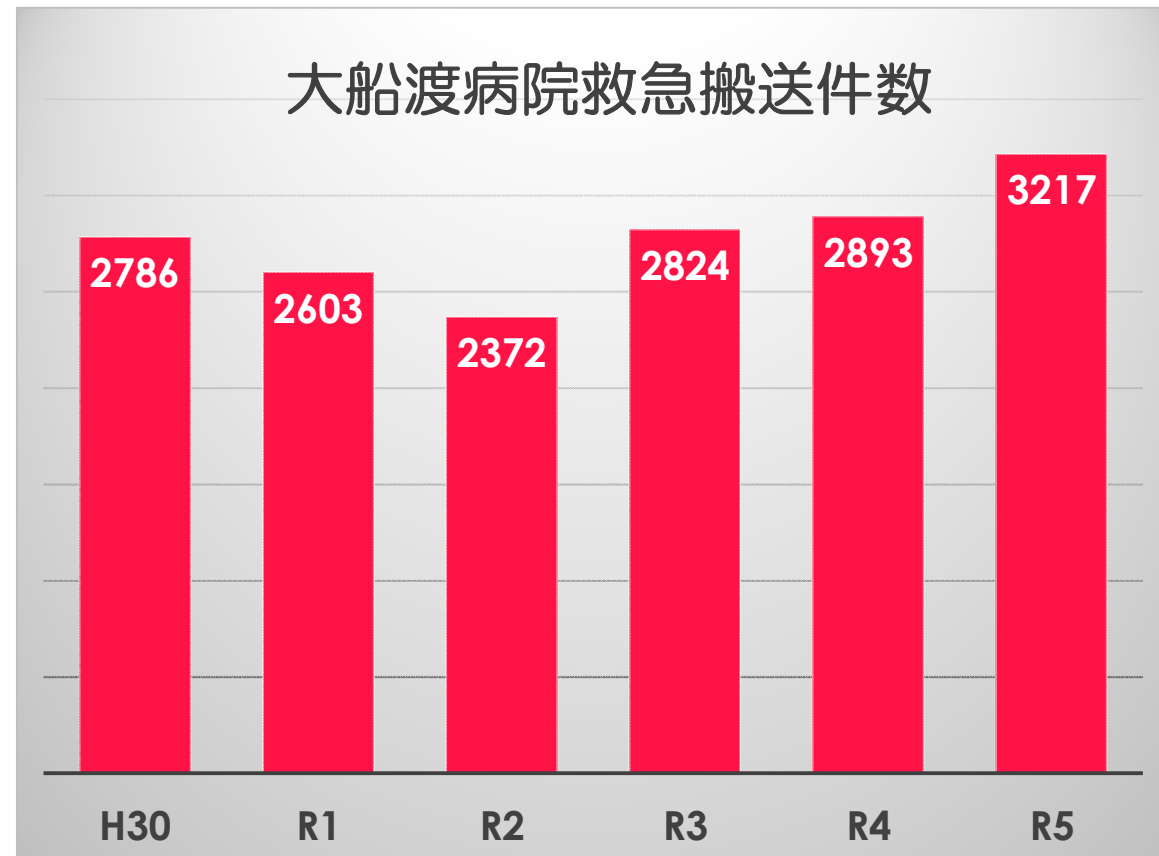
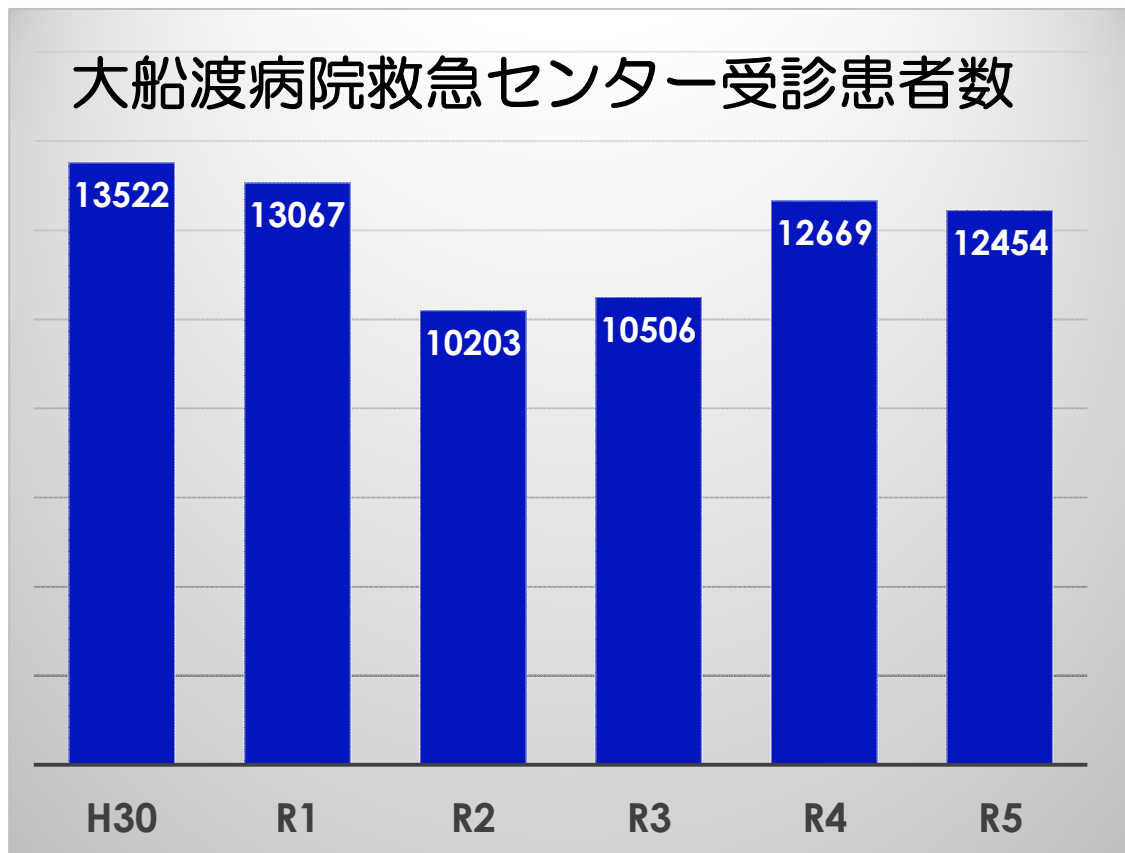
数値は
許可病床数

カッコ内の
数値は
稼働病床数

赤字のように変更し、稼働病床が50床弱減少して359床（一般病床250床）となった



救急搬送件数



* COVID-19の影響と思われる患者数の減少がみられたが、令和3年以降は受診患者数、救急搬送とも増加傾向



気仙地域の救急体制

近年は釜石市等の近隣市町からの受け入れが多くなっている

釜石・大槌の管外救急搬送

R1～R2 大船渡40%、岩手医大25%、
高度救命救急センター18%

R3～ 大船渡約80%と増加している

大船渡病院への管外搬送に係る平均所要時間は64分

心筋梗塞等の
心血管疾患

脳卒中

上記疾病が 令和2年～気仙・釜石圏域の医療連携
救急隊から担当科医師へのホットラインあり



ドクターカーの導入

方式：**ラピッド・ドクターカー方式**

→ 患者搬送は行わず、医師と看護師、（救命士）、機材を派遣

使用車両：DMATカー

要請基準：**キーワード方式**

→ 消防本部の通信指令センターからドクターカーの出動要請
（現場救急隊からの要請も可）

→ ドッキングポイントまたは救急現場で救急車と合流

出動日：週4日（火、水、木、金）、9：00～17：00（要請時間）

出動エリア：当面の間は、大船渡市と住田町（大船渡地区消防組合管内）

→ 軌道に乗れば、陸前高田市、釜石市、大槌町とエリアを広げていきたい。

運用開始時期：2024年4月16日開始



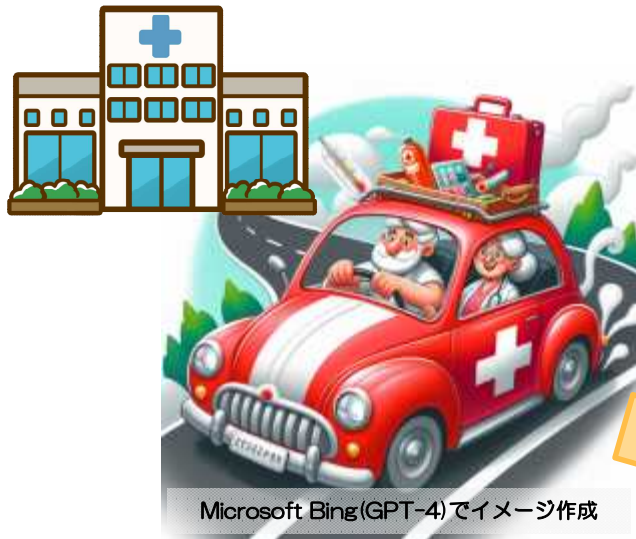
ドクターカーの目的

(厚労省の「ドクターカー運行マニュアル（第1版）から抜粋）

- ① 「医療介入・決定的治療までの時間短縮」
けいれんに対する**抗けいれん薬**投与
アナフィラキシーショックの**アドレナリン**投与。
緊張性気胸の**ドレナージ**、出血性ショックに対する**緊急輸液・輸血**など
- ② 「救急隊では不可能な高度な医療の提供」
止血剤や昇圧剤、**アミオダロン**などの抗不整脈薬など
呼吸不全に対する**非侵襲的陽圧換気/人工呼吸器管理**など
- ③ 「治療方針決定の前倒し」
脳卒中、急性冠症候群を想定。
医療機関到着後、**速やかに検査・根本的治療を開始することが可能**となる

上記の対応により、救命率の向上などが期待できる

ドクターカー運用フロー



②ドクターカー出動要請

【要請基準】
①車内に閉じ込められ救出に時間を要する、②呼吸をしていない、③溺水、④・・・、⑤・・・



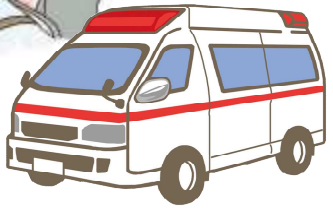
①緊急出動



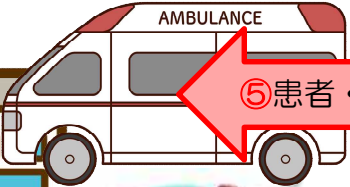
①患者乗込



④合流



③患者乗込



⑤患者・医師・看護師・必要な資機材を乗せて病院へ



⑤医師・看護師・必要な資機材を降ろして帰院へ

救急現場またはドッキングポイントで合流

ドクターカーの実績

4月16日～8月末日まで、計50件の出動

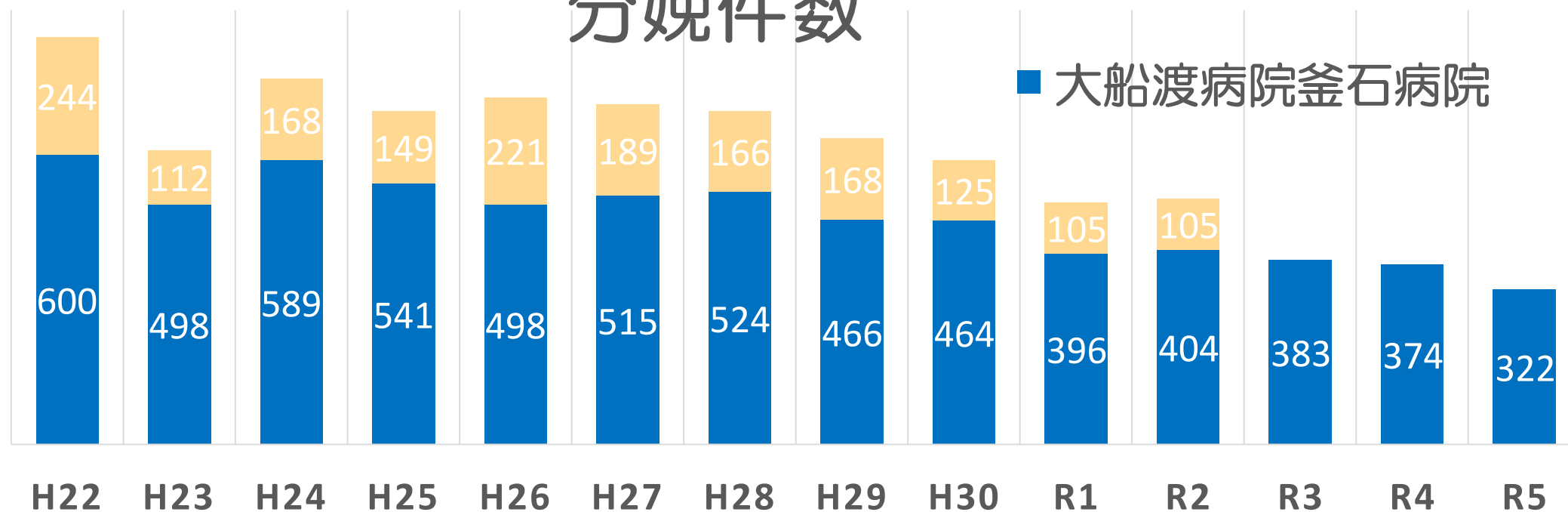
搬送時間 (平均)	接触まで (平均)	短縮時間 (平均)	短縮率 (平均)
32:47	21:25	11:22	34.8%



気仙・釜石周産期医療

大船渡病院地域周産母子医療センターは、大阪府より広い地区の周産期医療を産婦人科医師5名と小児科医師4名で行っており、地域完結型の周産期医療を提供している
令和3年10月からは大船渡病院に集約

分娩件数



面会の再開について

◎6月10日（月）～ 下記条件下で面会再開（他の県立病院に先駆けての再開）

面会の際は入館許可証が必要となる

【面会時間】 一般病棟 14：00～16：00

救命救急センター 12：30～13：30, 16：00～16：30

15分以内

【面会許可対象者】 2名まで

- ・キーパーソン1名、ご家族1名（18歳未満、高校生は不可）

【運用】

- ・入院日に、看護師または当該科外来看護師が面会許可証を渡す
- ・退院時に返却



令和7年度臨床研修医採用予定者数

	募集定員	マッチング	令和7年 採用予定者	令和6年 採用者	前年比
大船渡 病院	7名	3名	現時点で 3名	4名	▲1名
岩手県	121名	61名	63名	74名	▲11名

年度	平29	平30	令1	令2	令3	令4	令5	令6	令7
研修医 採用者	5名	7名	3名	5名	7名	6名	1名	4名	3名?



大船渡病院の今後の方向性(次期経営計画より)

基本方向 機能強化型の基幹病院として、高度・専門医療を強化

- 機能分化
- ☆気仙・釜石脳卒中医療圏、心血管疾患医療圏における高度・専門医療を行う病院として、症例を集積
- 連携強化
- ☆地域で必要な診療科の常勤医を確保し、医療を提供
 - ☆がん医療圏における拠点となる病院と連携し、身近ながん医療を提供



高田病院との連携について

- 高田病院で地域包括ケア病床を増床（26⇒38⇒43床に）
- 大船渡病院に入院し、回復期に移行する当院では対応しきれない自宅退院予定患者等について、高田病院への転院を推進していく
- 当院の病棟削減により、特に冬季等に病床が逼迫する可能性があるため、高田病院への転院を円滑に行うことができるよう、連携をより強化する必要がある
- 釜石病院も地域包括ケア病床を増床しており、回復期患者の転院を推進していく



地域との協働による病院運営

- ◎ オープンホスピタルの開催 令和6年8月6日（火）
高校生向け
職員からのメッセージ&座談会、仮想ケア会議、院内見学、体験実技講習等
- ◎ 市民公開講座の開催 令和6年8月31日（土） リアスホール マルチスペース
テーマ「がんと災害」
- ◎ 季節のイベント（七夕飾り、クリスマスコンサート等）の実施
- ◎ 広報活動の強化
ホームページによる情報発信 5/15 公式YouTubeチャンネル開設
病院広報誌の発行
- ◎ その他
ブーケデトンさんのコンサート 8月20日（火） 15：00～ 大船渡病院
大船渡病院同門会 9月28日（土）





令和7年は
設立90周年

山馬越
移転後30年

ご清聴ありがとうございました

